

子宮頸がん予防啓発リーフレット 15万枚無償提供のご案内

～自治体、教育機関、医療機関に向けて～

認定NPO法人キャンサーネットジャパン（東京都文京区 理事長 岩瀬 哲）では、昨年大幅改訂した子宮頸がん予防啓発リーフレット「みんなにもっと知ってほしい 子宮頸がんの予防のこと」（横浜市立大学医学部産婦人科学教室 宮城悦子主任教授 監修）を、自治体や、教育機関、病院などに先着15万枚を無償で提供します。成人式等でご活用ください。

*** 2024 年度日本郵便年賀寄付金の助成を受け実施いたします。**

昨年6万枚の無償提供を行ったところ、72自治体等からお申し込みをいただき、約2週間で配布が終了しました。無償提供終了後も27自治体からご購入があり、多くの自治体にご好評いただきました。

ほとんどの子宮頸がんは、性交渉によりHPV（ヒトパピローマウイルス）に持続感染することによって引き起こされます。子宮頸がんは、若いうちにHPVワクチンを接種することによってHPVの感染を予防し、さらに定期的な検診により早期に発見、治療することで子宮頸がんによって亡くなることを防ぐことができる、予防しやすいがんです。それゆえに、若い世代が子宮頸がんやその予防の知識を備えておくことが大切です。

2022年4月から小学校6年生～高校1年生相当の女子にHPVワクチンの積極的勧奨が再開されました。一方で、積極的勧奨がストップしていた間に接種機会を逃してしまった女性のために「無料キャッチアップ接種」が提供されています。対象は、誕生日が1997年4月2日～2008年4月1日の方で、来年1月に成人式を迎える20歳の女性が含まれます。このキャッチアップ接種は、2025年3月末までのため、対象の方への周知が急がれます。子宮頸がんの定期検診は20歳から始まることもあり、ぜひ、このリーフレットをご活用ください。

また、HPVは、男女問わず、性経験がある人の80%以上が一生に一度は感染すると言われています。男性も、HPVの持続感染により中咽頭がんなどのがんにかかるリスクがあるため、決して関係がないことではありません。

子宮頸がんやその予防のこと、HPVのことを知っておくことは、特に、今後、パートナーとの関係を築いていくことになるであろう新成人をはじめ若い世代にとって非常に重要なことです。このリーフレットが広く配布されることで、男女ともに若い世代の一人ひとりが自分ごととして考え、それぞれが予防に向けて行動に移すようになることを期待し、自治体、教育機関、医療機関向けに、リーフレットの無償提供を行います。



【本件に関するお問い合わせ先】

認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン 担当：多田

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K&K ビル 2F

Mail. info@cancernet.jp / Tel. 03-5840-6072 / Fax. 03-5840-6073

リーフレット：「みんなにもっと知ってほしい 子宮頸がんの予防のこと」

<https://www.cancernet.jp/cancer/cervical/leaflet>

監修：宮城悦子（横浜市立大学医学部産婦人科学教室 主任教授）

2024年4月改訂

四つ折り、観音折り（横105mm×縦210mm）

制作：認定NPO法人キャンサーネットジャパン

無償提供枚数：先着150,000枚まで

無償提供先：自治体、各教育機関（小学校、中学校、高校、大学、専門学校等）、医療機関



2023年9月制作
2024年4月改訂

女性はもちろん、男性も HPV によるがん発症のリスクがあります！

多くの人が一生涯に一度は感染 ヒトパピローマウイルス（HPV）とは

子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）ですが、「HPV感染＝がん」ではありません。HPVは、実はどこでもあるウイルス。主に性的接触で感染し、性経験がある人の80%以上が、一生に一度は感染すると考えられています。

HPVは通常、体の免疫力で自然に検出されなくなります。しかしまれに持続感染する場合があります。さらにそのうちの一部の細胞が、がんへと進行していきます。

男性も無関係ではありません

HPVは、男女問わず感染の可能性があります。コンドームでも完全に防ぐことはできません。またHPVの持続感染は、様々ながんの発症に関与しています。

HPVが引き起こすがん

女性	男女共通	男性
子宮頸がん （このがん）	中咽頭がん 肛門がん	陰茎がん
外陰がん		

※咽頭がんは、性別に関係が深い！

みんなにもっと知ってほしい

子宮頸がんの予防のこと
検診・ワクチン

ティール&ホワイトリボン、近年20代～30代の若い女性に増えている「子宮頸がん」の啓発シンボルです。

詳しくはWebで
<https://www.cancernet.jp/cancer/cervical>

認定NPO法人キャンサーネットジャパンで実施している「ティール&ホワイトリボンプロジェクト」は、子宮頸がんについて広く啓発活動を行うことを目的としています。

～すべての人に関係があるあなたも、パートナーも未来ある子供たちも～

みんなにもっと知ってほしい、女性のこと

子宮頸がん啓発キャンペーン
ティール&ホワイトリボン

がんは「自分には関係ない」と思っていませんか？

いま20～30代の女性に増えている子宮頸がんとは

子宮頸がんとは、子宮の入り口（子宮頸部）にできるがんです。若い世代で増加傾向にあり、現在、日本で毎年約1.1万人が子宮頸がんと診断され、毎年約3,000人が亡くなっています。

※出典：国立がん研究センターがん対策センター

このあたりにできるがんです

子宮頸がんは予防できます

子宮頸がんの発症には、ほとんどの場合、ヒトパピローマウイルス（HPV）というウイルスが関与しています。HPVは、一度でもセックスの経験があれば、男女問わず、だれでも感染の可能性があります。

しかしご安心を。子宮頸がんは、適切に行動すれば予防ができるがんなのです。予防のためにできることは、HPVワクチンの接種と、定期的な検診です。

初めの性交渉を経験する前が最も効果的！
小学校6年生～高校1年生相当の女子は、HPVワクチンを公費で受けることができます。

Q. どこでワクチン接種を受けられますか？

A お近くの医療機関（婦人科、小児科など）、市民館のある自治体などで相談ください。接種回数は2～3回。ワクチンの接種の年齢により回数や期間が異なります。※2回接種は15歳未満の女子での接種のみです。

Q. 接種の対象年齢を過ぎてしまいました…

A 接種機会を逃してしまった女性のための「無料キャッチアップ接種」があります。接種対象年齢は4月2日～平成29年4月1日の女性を対象です（令和7年3月31日まで）。

Q. セックス（性交渉）の経験後でも効果はありますか？

A 性交渉の経験後でも、まだ感染していないHPVの予防効果が期待できます。ただし、すでに感染しているウイルスを排除する効果はありません。

Q. 副反応が心配です。

A 接種部位の痛みや腫れなどは80%以上の人に生じるとされます。また、まれにアレルギー症状などが起こることがあります。気になる症状が出た際は、すぐに医師に伝えましょう。

ワクチンにより子宮頸がんにかかるリスクが低下するデータがあります

どちらも重要！
子宮頸がんを防ぐためにできる2つのこと

ワクチン
HPVワクチンで感染を予防

ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染を防ぐことで、将来の子宮頸がんを予防できると期待されています。

HPVは200種類以上の型があり、そのうち約15種類が子宮頸がんの原因になります。HPVワクチンは、このうち一部の感染を防ぎます。現在、日本で受けられるHPVワクチンは「2価」「4価」「9価」の3つです（2023年11月現在）。

- ※2価：4価より子宮頸がんの原因となるHPVの感染を60～70%を防止。※9価は80～90%を防止とされています。
- ※2022年より、より多くのHPVワクチンの種類の接種が可能になりました。

検診
子宮頸がん検診で早期発見

定期的な検診で、がんになる手前で発見することができます。

子宮頸がん予防にワクチン接種はとても効果的。でも、がんを100%防げるわけではありません。ワクチン接種の有無に関わらず、定期的に検診を受けることが子宮頸がん予防の基本です。

しかも検診では、「がんになっていないが」だけでなく、「がんになりそうな細胞があるか（前がん病変）」も調べることができます。早期に対処できれば、子宮を失わずに治すことも可能です。

Q. 検診はどこで受けられますか？

A 医療機関（産婦人科）で受けられます。住民票のある自治体から定期的にクーポン券をもらえることもあります。

Q. 特に症状はありませんが…

A 検診は症状がないときに受けるものです。また子宮頸がんは、初期の段階では自覚症状がありません。症状がなくても定期的に検診を受けることが大切です。

Q. 検診ではどんなことをしますか？

A 専用の器具を使い、子宮頸部の細胞を採取します。痛みを感じることはほとんどなく、数分で終わります。気になる場合は女性医師のいる機関を探すのも手です。

Q. 検診のデメリットはありますか？

A 少し出席することがあります。また、検診の精度は100%ではありません。がんを発見できなかったり、がんがないのにがんの疑いがあると判定の出たりする可能性もあります。しかし、それらの可能性は低く、検診を受けるメリットはデメリットを上回ることで期待されています。

不正出血などの自覚症状がある場合、検診受診として産婦人科を受診することがあります。

Q. 検診の結果はどのようにしてわかりますか？

A 7日～30日以上の検診後には検診結果がHPV検査結果の併せて発表されます。また、検診の結果は100%に近い精度で検診結果がわかります。

Q. 検診の結果はどのようにしてわかりますか？

A 7日～30日以上の検診後には検診結果がHPV検査結果の併せて発表されます。また、検診の結果は100%に近い精度で検診結果がわかります。

Q. 検診の結果はどのようにしてわかりますか？

A 7日～30日以上の検診後には検診結果がHPV検査結果の併せて発表されます。また、検診の結果は100%に近い精度で検診結果がわかります。

【本件に関するお問い合わせ先】

認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン 担当：多田

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K&K ビル 2F

Mail. info@cancernet.jp / Tel. 03-5840-6072 / Fax. 03-5840-6073

◆自治体、各教育機関（小学校、中学校、高校、大学、専門学校等）、医療機関のみなさま

子宮頸がん予防啓発リーフレット無償提供をご希望の場合は、下記よりお申込みください。

申込URL : <https://ws.formzu.net/dist/S79257365/>



※送料無料

※発送時期は、基本的に7月、9月、10月、12月を予定

（発送月の7月、9月、10月、12月に受け取りをご希望の場合、それぞれ20日までのお申し込み分を、月末までに発送いたします。例：9月にお受取りをご希望の方は、9月20日までに申し込みれば9月末ごろにお届け）。

※2024年度内のお申し込みは原則1団体1回まで（2回目以降のお申込みは、在庫状況により検討いたします）

※無償提供終了後は、1枚15円＋税＋送料一律800円にて承ります。

※ご希望があれば、自治体等のロゴや検診施設一覧の二次元コードを印刷することも可能です。その場合は、カスタマイズ費として30,000円＋税にて、1,000部から承ります（無償提供終了後はリーフレット代＋送料が別途必要となります）。また、お申込みから、発送まで約1か月半かかります。

詳細 : <https://www.cancernet.jp/cancer/cervical/leaflet>



日本郵便 年賀寄付金

このリーフレット無償配布のプロジェクトは、
2024 年度日本郵便年賀寄付金の
助成を受けて実施しています。



もっと、知ってほしい、女性のこと ®

子宮頸がん啓発キャンペーン
ティール&ホワイトリボン

<認定NPO法人キャンサーネットジャパン>

1991年に発足し、がん患者が本人の意思に基づき治療に臨むことができるように、科学的根拠に基づく情報発信を行うことをミッションとしています。2001年にNPO法人化、2007年1月に専用事務局を開設し、現在は東京と大阪を拠点に全国で活動しています。2016年8月認定NPO法人となり、現在の主な活動は、各種がんについての啓発イベント、全国のがん診療連携拠点病院等に設置されている「もっと知ってほしいシリーズ冊子」の制作、養成講座や認定試験など教育事業等も実施しています。これらの活動を通して、がんと向き合う人々が自分らしくがんに向き合える社会を実現することを目指しています。希少がんも含め、あらゆるがんに関する最新医療情報発信のため、2014年より毎年開催しているジャパンキャンサーフォーラムは、がん患者・家族のみならず一般市民を対象とした最大級のがん啓発イベントです。

<https://www.cancernet.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン 担当：多田

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K&K ビル 2F

Mail. info@cancernet.jp / Tel. 03-5840-6072 / Fax. 03-5840-6073